

(令和7～16年度)



スポーツでみんながつながり、 笑顔あふれるまちの実現を目指して



平成27年(2015年)に策定した前計画では、「スポーツで人と地域がいきいきと輝くまち」を基本理念に掲げ、様々な施策を展開してまいりました。スポーツを通じた健康増進、地域活性化、国際交流など、多くの成果をあげることができました。

しかしながら近年、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大や、社会構造の変化など、スポーツ環境は著しく変動しています。

特に、コロナ禍の影響は大きく、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとするスポーツイベントの中止・縮小による交流の停滞や、スポーツ実施機会の減少による子どもたちの体力低下など、様々な課題が顕在化しています。

加えて、人々の価値観の変化や多様化、少子高齢化の進展、学校部活動の地域連携・地域移行など、スポーツを取り巻く状況はここ数年で大きく変化してきています。

こうした状況を踏まえ、区では、新たな「豊島区スポーツ推進計画」を策定いたしました。

本計画では、「スポーツでみんながつながり、笑顔あふれるまち」として「としま」を基本理念に掲げ、3つの基本目標を大きな柱として各施策を計画的に実施していくことで、誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる機会や環境を整え、豊島区のスポーツ文化をさらに発展させてまいります。

本計画と同時期に、区が目指すまちの将来像を描く「基本構想」、その実現に向けた取組の方向性を示す「基本計画」も策定いたしました。その中で、スポーツに関しても重要な施策のひとつとして位置付け、今後、より一層スポーツを通じたまちづくりを進めてまいります。

スポーツは、人々の健康で豊かな生活の実現に寄与するだけでなく、スポーツを通じた多様性の理解、地域交流の促進、共生社会や持続可能社会の実現といった多くの可能性を持ち、さらには性別や障害の有無等に関わらず、子どもから高齢者まで多くの人が幸福感を高め、笑顔になることができる大きな力を持っています。区民の皆様、多様な主体の皆様と連携・協力しながら、スポーツを通じてひとりひとりがつながり、いたるところで笑顔があふれているまちを共に築いてまいりたいと考えております。

最後に、本計画の策定にあたり、熱心にご議論をいただきました、松尾哲矢会長をはじめとする豊島区スポーツ推進計画策定委員会の委員の皆様、貴重なご意見、ご提案をいただきました多くの皆様にご心より感謝を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

令和7年3月

豊島区長 高際 けいこ

目次

第1章 スポーツ推進計画の改定にあたって

1. 計画改定の背景と目的	2
2. 計画の位置付け	3
3. 本計画におけるスポーツの定義について	4
4. 計画の期間	4

第2章 豊島区のスポーツを取り巻く現状と課題

1. 豊島区における社会情勢の変化	6
2. 国や東京都の動向	12
3. 豊島区のスポーツに関する現状と課題	15
4. 豊島区のスポーツ実施環境	23
5. 豊島区で活動しているスポーツ関連団体	30

第3章 スポーツ推進計画における具体的取組

1. 計画の基本理念	34
2. 本計画における数値目標	35
3. 施策体系	36
4. 取組事業	40

第4章 計画の推進体制

1. 計画の推進体制及び進捗管理	82
2. 計画の評価と見直し	83

参考資料

1. 豊島区スポーツ推進計画策定委員会 設置要綱	86
2. 豊島区スポーツ推進計画策定委員会 委員	88
3. 豊島区スポーツ推進計画策定委員会 審議経過	89
4. 豊島区民のスポーツに関する意識調査結果（抜粋）	90